

# 稲盛経営哲学研究センター

Ritsumeikan Inamori Philosophy Research Center



## 稲盛経営哲学を100年後にも生きる理論に昇華 世界に発信し、人類社会の進歩発展に貢献する

地球環境悪化、頻発する紛争、拡大する格差、荒廃する道徳倫理など、現代文明は今、危機的状況にあります。その根底にあるのは、抑制されることがない欲望です。こうした利己的な欲望のみを追求しがちな社会にあって、「利他の心」に代表される稲盛経営哲学が大きな示唆を与えるのではないかと。そうした認識のもと、世界的な経営者である稲盛和夫氏の協力を得て稲盛経営哲学研究センターは設立されました。

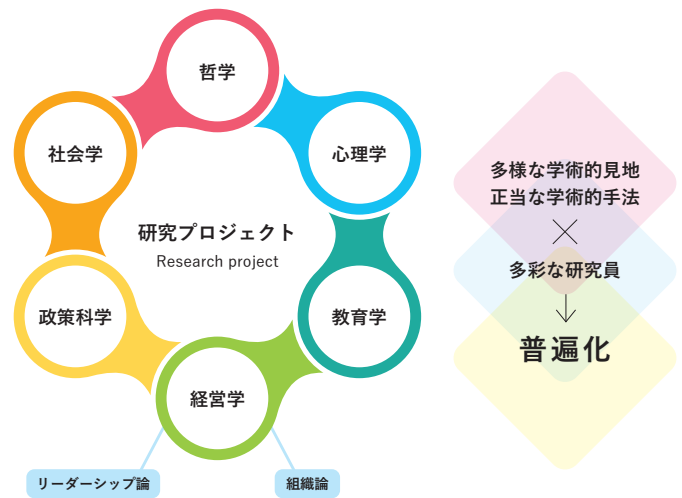
本センターでは三つの使命を定め、研究活動を推進しています。一つは、稲盛経営哲学の「普遍化」と「一般化」です。多様な見地から稲盛経営哲学を研究し、学術的知見を形成。異なる文化・地域・状況においても普遍的に役立つものとして一

般化します。現在、「哲学分野」「リーダーシップ分野」「組織論分野」に分かれて研究を推進しています。哲学分野においては、既存のグローバル資本主義の副作用をあぶり出すとともに、稲盛氏の企業哲学を読み解き、規範に基づく企業経営、新しい資本主義のあり方を探求しています。「リーダーシップ分野」においては、稲盛氏が提唱した人格重視のリーダーシップについて学術的な研究と理論化を試みています。さらに「組織論分野」においては、人間の心の動きに着目し、組織文化の人格形成への長期的影響や従業員の心理と組織パフォーマンスの関係などを探求しています。いずれの分野でも、産学連携によって企業の現場に研究成果を還元すると同時に現場からもフィー

ドバックを得ることで、研究のさらなる発展につながっています。また国内外の著名な研究者らを集めてワークショップを開催し、知見を共有するとともに、蓄積した成果を発信することにも取り組んでいます。

二つ目に掲げたのは、稲盛経営哲学の体得につながる「教育プログラム」の研究・開発です。「利他」の理念と「アメーバ経営」手法に学ぶ「教育プログラム」を開発し、初等中等教育を基点とした教育方法への転換を研究していくプラットフォームを構築。小学校・中学校・高校、さらには社会人への教育として実践し、人材育成に尽力します。

最終的な使命は、こうした研究・教育活動の成果を世界に発信し、人類社会の進歩発展に貢献することです。稲盛経営哲学を学術的に分析するだけでなく、普遍的な価値を見出し、一般的な「知」として社会に還元するところが本センターの特長です。稲盛経営哲学を100年後も生きる理論に昇華し、社会の発展に役立てていきます。



#### ■「利他」の心に基づく教育プログラムの開発

立命館附属校などとの協働で、稲盛哲学・「『利他』の心」に基づいた授業を開発・実施し、教材化を行っています。「稲盛和夫氏の青少年期に学ぶレジリエンスの授業」などの稲盛哲学に基づく授業をフィードバックによって完成度を高め、ウェブ上で教材を公開。これまでの「利他」教育の実践の成果を教育実践研究誌「RITA」で紹介、教育関係者への配布やWEB版公開により、その普及を行っています。

#### ■「人の資本主義」研究プロジェクト

人間の尊厳を回復する「人の資本主義」という概念で稲盛哲学を追求し、「利他の心」を基調とする人間に資するものに組み替え、資本主義を持続可能なものにしようとしています。研究会を実施し、「資本主義とは何か」、「資本主義の原動力は何か」、「資本主義はなぜ暴走するのか」など多様な観点から議論。その内容の書籍化を目指します。

#### ■「利他のリーダーシップ」研究プロジェクト

「利他の経営哲学とリーダーシップ研究」と「フィロソフィの組織理論・経営史的研究」のプロジェクトを推進しています。稲盛フィロソフィが東北アジアや欧米でどのように認識・共有されているかを解明し、稲盛フィロソフィと利他のリーダーシップが、21世紀のグローバル経済システムの有望なモデルであることを明らかにしています。



##### 主な研究テーマ

- 利他の精神に基づく効果的な短期留学メソッドの確立
- 稲盛経営フィロソフィに基づく企業変革マネジメントの有効性
- アメーバ経営と経営フィロソフィの実践における日中比較研究
- JAL再生を先導した哲学・教育プラットフォーム
- 稲盛経営哲学は何をもたらしたか
- 「足るを知る」(感謝の気持ち)から生じる正の連鎖の心理・脳科学的解明



センター長：青山 敦(テクノロジー・マネジメント研究科 教授)

主な研究拠点：大阪いばらきキャンパス

お問い合わせ：立命館大学 研究部 OICリサーチオフィス 稲盛経営哲学研究センター事務局

TEL: 072-665-2585 FAX: 072-665-2589 ①: oicro@st.ritsumei.ac.jp <http://www.ritsumei.ac.jp/research/riprc/>